

1. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

馬車は草地をはなれました。木がけむりのようにぐらぐらゆれました。一郎は黄金のどんぐりを見、やまねこはとぼけた顔つきで、遠くをみていました。馬車がすすむにしたがって、どんぐりはだんだんひかりがうすくになりました。

(宮沢賢治「どんぐりとやまねこ」)

文の数 ( )

2. 次の文章について、①段落の数、②文の数を漢数字で答えなさい。

日本は、小さな島国です。しかも、人々が生活できるような平らな土地は、それほど多くはありません。それでも、その限られた土地には一億を超える人々が住み、さまざまな暮らしを営んでいます。その一つが山村です。人々はここで、大昔から木を切ったり、炭を焼いたりしてきました。そしてさらに、小さな畑を作ったり、魚を取ったりして、生活を支えてきたのです。

①段落の数 ( )

「

②文の数 ( )

「

3. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

猫の耳というものはまことにおかしなものである。うすべったくて冷たくて竹の子の皮のように表には毛が生えていて裏はピカピカしている。冷たいような柔らかいようななんともいえない一種特別の物質である。

文の数 ( )

4. 次の文章は三つの段落に分けられる。第二段落と第三段落の最初の五字を、それぞれ抜き出しなさい。

日本の学生は、ただひたすら教科書だけを読んで勉強した気分になっていない。そのため、卒業するとたちまち怠けてしまうように見える。教科書以外の本を読む習慣がないばかりに、せつかくの知識欲も宙に浮いてしまうのである。それならば欧米の学生はどのようであるかというところ、常に知識欲を満たすために、教科書以外にも、いわずの専門書と呼ばれる本をむさぼるように読むのである。彼らは専門書を読むことにあまり抵抗を感じていない。ごく日常的に専門書と接しているのだから、この感覚は、そう簡単に身につくものではない。日や、早くから読書を習慣づけておく必要があるだろう。

第二段落 ( )

「

第三段落 ( )

「

1. 次の語句を並び替え、意味の通る文にしなさい。

お兄さんは 楽しい 彼女の とても 人です。

( )

( )

2. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

ここに熱い湯が入った茶碗が一つあるただ一杯のこの湯だが、自然の現象を観察することの好きな人には、さまざまな疑問が起こってくるだろう。例えば、湯気が上がる時にはいろいろな音が聞こえる。茶碗のすぐ上から大きくうずが来て、それがかなり早く回りながら上っていく。

文の数 ( )

( )

3. 次の文章に句点「。」をつけ、意味が通るように並び替え、その順序を記号で答えなさい。

アイウエオ  
社会とは、人々が集まって生活する集団のことである。  
だから、家族も、一つの小さな社会といえるだろう。  
わたしたちの友達と作っているグループも小さな社会である。  
わたしたちは家族を作った生活している。  
また、わたしたちには、何人かの、親しく付き合っている友達が  
いる。

(ア)

↓

↓

↓

↓

( )

4. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

私はそれから時々先生を訪問するようになった。行くたびに先生は在宅であつた先生に会う回数が増えるにつれて、私はますます先生と先生との関  
へ足を運んだ。

文の数 ( )

( )





1. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

形の乱れやゆがみは、見た目の美しさを半減させる。花火作りは、内包する部品作りから組み立てにいたるまでほとんどが手作業で、その良しあしや精度が、開花した時の姿に大きく影響する。丁寧な作業を積み重ねること、理想の姿に近づけていくのだと花火師は言う。

( )

2. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

現在の花火大会では、一発のできればもちろんのこと、それを連続して打ち上げる時の組み合わせやリズムといった演出面も、観客を楽しませるといふ観点から重要となっている。

( )

3. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

ある日のことでございます。お釈迦様は極楽の蓮池の縁を、独りで歩みお歩きになつていらつしやいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のように真っ白で、そのまんなかにある金色のうちは、なんともえないように匂いが、絶え間なく辺りへあふれております。極楽はちょうど朝なのでございませう。

( )

4. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

しかし極楽の蓮池の蓮は、少しもそんなことには頓着いたしません。その玉のようないや、そのまんなかにある金色のおみ足からは、なにゆえなく、なを動かして、絶え間なく辺りへあふれております。極楽ももう昼に近くなつたのでございませう。

( )

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

庭外演春日  
にか劇の本  
出ら部森の  
るネのは伝  
とコ発や統  
ひの表わ的  
ぎ鳴をらな  
しく静か庭  
が声かい園  
まがに光の  
ぶ聞鑑に形  
しこ賞包式  
かえしまだ  
つるたれ  
た。る。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

計人明父私  
画前日がは  
的での私ゆ  
に話朝のつ  
夏すに弁く  
休時飛当り  
みは行を階  
のは機届段  
勉つにけを  
強き乗て上  
をりるくつ  
進言。れた。  
めお。た。  
るう。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

今私弟ピ軽  
日はがンい  
は弟風ク荷  
日を邪の物  
高うで花を  
山ら学を部  
脈や校自屋  
がまを分に  
よし休の運  
くくむ部ぶ。  
見思。屋  
えう。に  
る。飾。  
る。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

力時給肉今  
レ々食じ日  
|おはやの  
のか毎が給  
日わ日の食  
はり残日は  
一をさはパ  
番すずうン  
元る食れと  
気時べし焼  
ががまいき  
出あす。そ  
まりすば。  
す。ま。で  
す。す。



1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

沖縄県は日本でも西にある。  
多島の日は本構で最も西にある。  
温かい候なら、魚を観る客が多い。  
海の中は静かだ。魚が。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

北海道は北に位置する。  
北海道の土地は、乳牛が多い場所がある。  
北海道の牛肉は、おいしい場所がある。  
北海道の牛肉は、乳牛が多い場所がある。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

ミヤマト隣に一本の国がある。  
ミヤマト隣に一本の国がある。  
ミヤマト隣に一本の国がある。  
ミヤマト隣に一本の国がある。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

かき氷を食べる頭が痛い。  
かき氷を食べる頭が痛い。  
かき氷を食べる頭が痛い。  
かき氷を食べる頭が痛い。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

気が付ければスマホの充電が減っていき。私、勝負飯は何か。井戸は新鮮だ。市場の井の買帯刺物に付く新鮮だ。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

お盆には先祖の墓に手を合わせる。十月十五の夜、家族でお月見をした。いそぎが住んで見ると信じていた。新学期に学級写真を撮影する。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

自分で信じたのが、マクラソルン大会に参加した。私、小作の日記にマクラソルン大会に参加した。推理小説を読むと、脳が活性化するとき止めた。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

新体活祭な出仲間い胸が高まる。新年活動祭な出仲間い胸が高まる。勉強の力で絆を深める。憧れが。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

．．．．．  
真玉ひ玉晩  
んねきねご  
中ぎ肉ぎ飯  
にとををに  
くひこみハ  
ぼきねじん  
み肉るんバ  
をを 切 |  
つ混 リグ  
けぜ にを  
てる。 す作  
焼 るる。  
く。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

．．．．．  
友ド祖鍵忘  
達ア母がれ  
にをがか物  
借叩自かに  
りく宅つ気  
て ． にてづ  
や いいい  
り ． ． ． ．  
過 が中自  
ご 耳に宅  
した。 が入に  
遠れ戻  
いなる。  
い。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

．．．．．  
積物自先部  
み事分輩活  
重はなはの  
ねすり筋先  
がぐにの輩  
大に考通の  
き上えつ話  
な達てたを  
かし行こ良  
にな動とく  
ないすを聞  
る。 ． ． ．  
る。 ． ． ．  
う。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたしの／お母さんの／誕生日だ。

．．．．．  
ど今主チ挨  
んの人ヤ拶  
な僕とンす  
にははスる  
暗は無はと  
く勢理い気  
ていをつ分  
もが言かが  
星あう訪良  
はるもれい。  
輝 のる。  
く だ。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・ 白い 雪が 積もる。
- ・ 猫が 糸を 引っ張る。
- ・ 妹は ゆかたを 着る。
- ・ 海辺では カニも いる。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・ 太陽が 昇る。
- ・ 自然は すばらしい。
- ・ 議長が 意見を まとめた。
- ・ 夜空に 星は 輝く。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・ 灯台の明かりが夕暮れにともった。
- ・ 白雪姫は永い眠りから覚めた。
- ・ ぼくの横に弟も並んだ。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・ 弟は来年小学生になる。
- ・ まもなく友人も来るだろう。
- ・ 始発の電車が駅に着いた。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・みくは くちびるを 引きしめた。
- ・二人は 車を 追いかけて 飛び乗った。
- ・彼は むずかしい 演奏曲は 上手に 弾けない。
- ・私の 部屋の 机には 写真を 飾って 置いてある。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・みくは 一人 うなずいた。
- ・となりの 席の 人が 席を ゆずってくれた。
- ・先生は 趣味は 写真だと 話してくれた。
- ・私は なかよく なりたいと 思った。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・実験が 理科室で 行われた。
- ・脳は 体の 外部での ことを 検知できる。
- ・ことわざは 昔から 多く 使われている。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・話す人はわかりやすく伝える。
- ・私は道幅が狭くて歩けない。
- ・車との接触事故があった。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・僕は まちがっていないと 思う。
- ・フリードリヒは 町の まん中に 現れた。
- ・袋の 中身は りんごだった。
- ・宝物が 道いっばいに 転がってしまった。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・あの ケーキは 大きい。
- ・田中君は 大阪の たこ焼き屋で 働いている。
- ・どこかで 見た 風景だった。
- ・休みの 朝は 駅に 行く 人が 少ない。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・僕は りんごを 集める。
- ・女の子は ふり返って 手を ふった。
- ・僕たちは 公園の中を 散歩した。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・本には たくさんの 情報がある。
- ・彼は 辺りが 暗くなり 歩けない。
- ・小さな あな が あく だろ う。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・白い 象が やってくる。
- ・オツベルが 顔を しかめる。
- ・象は しくしく 泣き出した。
- ・象の 片足が 塀から こっちへ はみ出した。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・ガラス瓶が 食卓の 上に ある。
- ・私は 家族に 行き先を 伝える。
- ・ウミガメが 海岸で 産卵する。
- ・この 果実は よく 熟れている。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・子どもが 健やかに 育つ。
- ・熊が 干潟で 貝を 拾う。
- ・先生たちが 廊下を 掃除する。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を、述語に――線をつけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・花には多くの虫が訪れる。
- ・私は初心に戻ってがんばる。
- ・虫が家の外で鳴く。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・富士山は 日本で 一番 高い 山だ。
- ・彼は マラソンに 挑戦している。
- ・ライオンは アフリカの 草原の 王だ。
- ・北海道は おいしい ラーメンで 有名だ。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・山形の サクラランボは おいしい。
- ・田中君は メガネを した 人です。
- ・ろうそくの 火が 消える。
- ・教室には 移動式の テレビが ある。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・マイケルは アメリカ出身の 男の子だ。
- ・その店に 肉は 売っていなかった。
- ・黒い 毛の うさぎが 一匹 いる。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・北海道は 寒さが 厳しい。
- ・このいもは 予想 以上に 大きい。
- ・美しい鳥が はば たく。

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を、一文節で答えなさい。

- ・丸い 月が 見える。 ( )
- ・妹は 暗い 部屋で 一人で 寝た。 ( )
- ・遠い 道を ゆっくりと 歩いた。 ( )
- ・赤い 花が 公園に 咲く。 ( )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・ひまわりの 種が 落ちている。 ( )
- ・図書室は 三階に あります。 ( )
- ・学級委員が 司会を 務める。 ( )
- ・おいしい 桃を 食べる。 ( )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・母は 歩いて 美容室に 出かけた。 ( )
- ・野球は とても 楽しい。 ( )
- ・図書館で ぼくは 静かに 読書する。 ( )
- ・父と 母が 外出して いる。 ( )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・大豆は、高い栄養価を持っている。 ( ) 修飾語の種類 ( )
- ・桜の花びらが、ちらちらと舞う。 ( ) 修飾語の種類 ( )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・祖父に やっと 十年ぶりで 会えた。 ( )
- ・風の 中を 客船は 進んだ。 ( )
- ・小さな アリが 大きな 虫を 運ぶ。 ( )
- ・駅で 父の 帰りを じっと 待った。 ( )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・彼は 有名な 画家だ。 ( )
- ・私は 妹の 三角定規を 借りた。 ( )
- ・父は ゴルフに 出かけた。 ( )
- ・お土産を どっさり 買って来た。 ( )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・私も 一緒に 遊びたい。 ( )
- ・渡り鳥が 飛んで いく。 ( )
- ・誘ってくれて ぼくは うれしかった。 ( )
- ・彼は 有名な 詩人です。 ( )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・公園で、小さな子どもたちが遊ぶ。 ( )  
文節 ( ) 修飾語の種類 ( )
- ・長い彼女の髪は、彼女の宝物だそうだ。 ( )  
文節 ( ) 修飾語の種類 ( )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・兄の 本を 借りて 読む。 ( )
- ・秘密を 友に こっそり 打ち明けた。 ( )
- ・子どもは 公園で 遊ぶ。 ( )
- ・午後から 友人が 来る。 ( )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・かわいい 犬を 飼う。 ( )
- ・ゆつくりと 流れる 川。 ( )
- ・友だちが いきなり 遊びに 来た。 ( )
- ・わたしは 母と 待ち合わせを した。 ( )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・彼は ピッチャーで エースだ。 ( )
- ・母は メロンパンを 作った。 ( )
- ・いらぬなら ぼくが 全部 食べるよ。 ( )
- ・白い ぼうしを かぶった 少女が いる。 ( )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・これは、もともと優れた小説の一つだ。 ( ) 文節 ( ) 修飾語の種類 ( )
- ・私が生まれたふるさとには、お茶の名産地です。 ( ) 文節 ( ) 修飾語の種類 ( )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・僕は 駅に 行った。( )
- ・母が 料理を 作る。( )
- ・白い 花が 咲く。( )
- ・電車が 事故で 止まった。( )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・弟は とても 元気だ。( )
- ・わたしは そうっと 歩く。( )
- ・父は 数学の 先生だ。( )
- ・色あせた 写真が おいてある。( )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・生徒たちは みんな 教室に 避難した。( )
- ・図書室には 漫画が 一冊も ない。( )
- ・妹も 私たちと 一緒に 遊びたがる。( )
- ・彼女は わたしの 憧れの 先輩だ。( )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・昨夜から本格的に降ってきた雨は、まだやまない。文節 ( ) 修飾語の種類 ( )
- ・長く細い道が、どこまでも続いていく。文節 ( ) 修飾語の種類 ( )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を、一文節で答えなさい。

- ・雪で 道は 真っ白に 染まった。 ( )
- ・苦勞して 見つけた ぼくの 宝物を。 ( )
- ・友人に 留守だから 遊ぼうと 言った。 ( )
- ・兄が ゆっくり 走る。 ( )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・ねずみが すばやく 逃げる。 ( )
- ・真っ赤な りんごは おいしい。 ( )
- ・鳥が 巣箱に 入った。 ( )
- ・わたしは 兄と 走る。 ( )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・ぼくは 初めて サインを もらった。 ( )
- ・自然は 人の心を いやします。 ( )
- ・わたしは 思わず ガッツポーズを した。 ( )
- ・今日の 波は 静かで 穏やかだ。 ( )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・青空を、大きな鳥がゆっくりと飛ぶ。 ( ) 修飾語の種類 ( )
- ・かわいい犬に、きゃんきゃんと吠えられた。 ( ) 修飾語の種類 ( )



1. 次の各文の接続語を一文節で答えなさい。

・雨だったので、ぼくは家にいた。

( ) ( )

・遠かったが、バスには乗らなかった。

( ) ( )

・風が強くなり、さらに雨まで降りだした。

( ) ( )

2. 次の各文の独立語を一文節で答えなさい。

・おおっ、これは見事な茶碗だ。

( ) ( )

・みんな、早く集まろう。

( ) ( )

・時間、これほど大切なものはない。

( ) ( )

3. 次の文に自然に続くように、( ) にあてはまる接続語を次から選び、書き入れなさい。

テストで八十点を取った。

A . ( ) ( )、大満足だ。

B . ( ) ( )、物足りない。

しかし ( ) さらに ( ) だから ( ) なぜなら ( )

4. 次の文章から独立語を抜き出し、その意味を後から選びましょう。

・ ( ) ( ) おい、これを見ろよ。  
・ ( ) ( ) 努力、これが今の君には必要なのだ。  
・ ( ) ( ) はい、もうすぐ終わります。  
・ ( ) ( ) なんと、素敵なバラの花束なんだろう。

ア、感動    イ、応答    ウ、呼びかけ    エ、提示

1. 次の各文の接続語を一文節で答えなさい。

- ・ 赤、そして白が私の好きな色だ。 ( )
- ・ もうだめだと思った。しかし、あきらめなかった。 ( )
- ・ 本を買おうか。でも、CDも欲しい。 ( )

2. 次の各文の独立語を一文節で答えなさい。

- ・ もしもし、先生のお宅ですか。 ( )
- ・ いいえ、違います。 ( )
- ・ そうだ、みんなで図書館に行こう。 ( )

3. 次の文に自然に続くように、( ) にあてはまる接続語を次から選び、書き入れなさい。

- ・ 外出中に雨が降ってきた。  
A . ( ) 、台風が近づいているからだ。  
B . ( ) 、強い風まで吹いてきた。
- ( ) かし さらに ( ) だから ( ) なぜなら ( )

4. 次の文章から独立語を抜き出し、その意味を後から選びましょう。

- ・ ( ) エジプト、そこは時間の流れが止まったような所だ。
- ・ ( ) いいえ、その件については聞いておりません。
- ・ ( ) ああ、これで今年のテストも終わりだ。
- ・ ( ) ねえ、明日例の美術館に行ってみない。

ア、感動

イ、応答

ウ、呼びかけ

エ、提示

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部の接続詞の種類を後ろから選び、書きなさい。

・彼女の説明は具体的だ。だからわかりやすい。

・これで宿題が終わった。さて次は何をしようかな。

・赤、青、緑。つまりこれを光の三原色という。

〔順接 逆接 並列・累加 対比・選択 説明・補足 転換〕

2. 次の文から独立語に線を引きなさい。

・やあ、今日もいい日ですね。

・あなたは野球が好きですか。はい、そうです。

・もしもし、山田さんのお宅ですか。

3. 次の ( ) に入る適切な接続詞を後ろから選び、書きなさい。

・あの店のハンバーグはおいしい。 ( ) 、量も多い。

・あの店のハンバーグはおいしい。 ( ) 、もっと食べたい。

・あの店のハンバーグ、 ( ) コロッケを食べたい。

〔だから でも しかも もしくは なぜなら では〕

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の独立語の種類を後ろから選び、書きなさい。

・あなたが好きなのは、すしですか。いいえ、ちがいます。

・やあ、元気だった？

・さようなら、また明日遊ぼうね。

〔感動 呼びかけ 応答 あいさつ〕

1. 次の ( ) 線部の接続詞の種類を後ろから選び、書きなさい。

・このメロンはとても高い。しかし、甘くはない。( )

・ラーメンを食べた。さらに、餃子も食べた。( )

・ケーキを食べますか。それとも、スイカにしますか。( )

〔順接 逆接 並列・累加 対比・選択 説明・補足 転換〕

2. 次の文から独立語に線を引きなさい。

・ねえねえ、この本はとってもおもしろいよ。

・理想、これがなければ突き進めないね。

・ひまわり畑を見た。なんと、美しい景色でしょう。

3. 次の ( ) に入る適切な接続詞を後ろから選び、書きなさい。

・帰ったら、勉強しようか。( )、読書しようか。

・帰ったら、勉強を一時間して、( ) 読書をしよう。

・帰ったら、勉強をしよう。( ) 明日はテストだ。

〔だから だが しかも もしくは なぜなら さらに〕

4. 次の ( ) 線部の独立語の種類を後ろから選び、書きなさい。

・へえ、そのようなことまで知っているのですね。( )

・いいえ、そのようなことは聞いていません。( )

・こんにちは、今日はよろしくね。( )

〔感動 呼びかけ 応答 あいさつ〕

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはつきり見える。

- ・ 歴史や哲学を学ぶと良い。
- ・ ハワイは空と海が美しい。
- ・ このケーキは、甘いし、やわらかい。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・ 青く すんだ 空を 見上げる。 ( )
- ・ 海辺の 風に 旗が なびく。 ( )
- ・ 毎日 勉強したり 運動したり 忙しい。 ( )
- ・ 兄は 走り、 ぼくは 歩いた。 ( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・ 庭に 犬が いる。 ( )
- ・ 雲が 動いて いる。 ( )
- ・ 手紙を 書いて みる。 ( )
- ・ 百科事典を みる。 ( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ かばんに入れた教科書がない。 ( )
- ・ 幼い子と遊んであげる。 ( )
- ・ 学校への坂道は長くゆるやかだ。 ( )

ウ ア 主・述の関係  
 エ イ 修飾・被修飾の関係  
 補助の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・私が飼っている犬の毛はふわふわで白い。
- ・ありやくもが、とてもたくさんいる。
- ・昼ご飯はラーメンかチャーハンか、どちらにする？

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・僕は 彼を 疑う。 ( )
- ・遊びに 行くのは やめた。 ( )
- ・彼は ピッチャーで エースだ。 ( )
- ・うちに、ねこと 犬が いる。 ( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・きれいな 花が 咲いて いる。 ( )
- ・店は その あたりに ある。 ( )
- ・母に 相談して みる。 ( )
- ・いくら 探しても ない。 ( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・平和であることが一番だ。 ( )
- ・庭の木もきれいに手入れされている。 ( )
- ・小さくてかわいい花が咲いている。 ( )

ウ ア 主・述の関係                      エ イ 修飾・被修飾の関係  
 並立の関係                              補助の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・母は太い大きな字を書く。
- ・姉も妹も同じ学校へ通っている。
- ・彼女は優しく美しい。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・僕と君は親友だ。( )
- ・雨は降るが、そのうち晴れるだろう。( )
- ・祖父も祖母もとても元気だ。( )
- ・ねずみがねこを追いかけた。( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・目的地まで遠くない。( )
- ・がんばって走っている。( )
- ・成功しかない。( )
- ・もう少いで急カーブがある。( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・泳いでいるのが私の兄です。( )
- ・父も母も声大きい。( )
- ・ゆっくりと流れる川の水が美しい。( )

ウ ア 主・述の関係  
 エ イ 修飾・被修飾の関係  
 補助の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

・ 目指しているのは、声優とアイドルだ。

・ 富士山は高く大きい。

・ 見たり聞いたりして調べよう。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・ 君こそ 私の 気持ちを 理解して いない。( )

・ たくさん 食べたりに 飲んだり した。( )

・ そんなに 急いで どこへ 行くの？ ( )

・ 小さくて かわいい 子犬が いる。( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・ 忘れ物が ないか 調べて ほしい。( )

・ そんな 気は ない。( )

・ まだ 寒くは ない。( )

・ こわいという 気持ちが ある。( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

・ 私の父は学校の先生である。( )

・ おなか痛いので、保健室へ行った。( )

・ 今、飲みたいものはコーヒーか紅茶だ。( )

ウ ア 主・述の関係      エ イ 修飾・被修飾の関係  
並立の関係              補助の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

・私の町は山や海が近い。

・炊事、洗濯、どちらも大切だ。

・あの子は、誠実で控えめな性格だ。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・息子には 強く 健康に 育って ほしい。( )

・きれいな 海へ 行きたい。( )

・イルカが いるし、アシカも いる。( )

・東京でも 大阪でも どこへでも 行ける。( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・こちらの 方へ 歩いて くる。( )

・彼は、頭が 良いし、足も 速い。( )

・全部、食べて しまった。( )

・雨雲が こちらへ くる。( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

・さあ、行ってみよう。( )

・あの映画は、面白くてためにもなる。( )

・りんごやみかんがある。( )

ウ	主・述の関係	アイ	修飾・被修飾の関係
ア	並立の関係	エ	補助の関係

1. 次の各文の \_\_\_\_\_ 線部は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ のどかな街を訪れた。
- ・ 桃の花の香りがする。
- ・ 世界中の人々が喜んだ。
- ・ さあ、授業を始めよう。
- ・ 犬、しかも猫まで飼っている。

ア 主語      イ 述語      ウ 修飾語      エ 接続語      オ 独立語

2. 文の成分について、( ) に適切な語句を記入しなさい。

- ・ ( ) 文の中心となり「何が」を表す。
- ・ ( ) 主語の動作や様子、状態などを表す。
- ・ ( ) 他の文節にかかり、詳しく説明する。
- ・ ( ) 他の文節から独立して意味を表す。
- ・ ( ) 文や文節をつなぎ、関係や理由を表す。

3. 次の各文の \_\_\_\_\_ 線部の連文節は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ 雪が降ったので、屋根の雪かきをした。
- ・ 根性と努力、これがぼくのモットーだ。

エ ア 主語      オ イ 述語      ウ 修飾語

エ ア 接続部      オ イ 独立部

4. 次の各文の \_\_\_\_\_ 線部の連文節は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ 駅まで、車か自転車で行きましょう。
- ・ 父と母が北海道へ旅行する。
- ・ 辞書を使って、英語の手紙を読んでみる。

エ ア 主語      オ イ 述語      ウ 修飾語

エ ア 接続部      オ イ 独立部

1. 次の文で、接続部にあたる連文節を見つけて、――線を施しなさい。

- ・試合に勝ったが、わずかの差だった。

2. 次の文で、修飾部にあたる連文節を見つけて、――線を施しなさい。

- ・太陽は強く激しく輝いた。

3. 次の文で、述部にあたる連文節を見つけて、――線を施しなさい。

- ・追いかけていく、汽車が見えなくなるまで。

4. 次の文で、独立部にあたる連文節を見つけて、――線を施しなさい。

- ・社会の安定、それは政治の力のおかげだ。





1. 次の各文で並立の関係にある連文節に 線をひきなさい。

- ・チーズや ヨーグルトは 乳製品だ。
- ・エベレストは 高く 険しい。
- ・解答用紙に 鉛筆か ボールペンで 書きなさい。
- ・国会は 衆議院 参議院から 成る。

2. 次の各文の 線部は並立の関係にある連文節である。それぞれのよ  
うな分の成分になつてはいるか、答えなさい。

- ・この 犬は かしこくて おとなしい。
- ・夏休みに 海と 別荘に 行った。
- ・東京タワーと スカイツリーは 東京に ある。

ア 主部      イ 述部      ウ 修飾部

3. 線部が補助の関係になつてはいる方を選びなさい。

- イア 美術館で 絵を 見る。
- イ 英語で 話して みる。

4. 線部が補助の関係になつてはいる方を選びなさい。

- イア ハガキを ポストに 出して くる。
- イ 秋の 次には 冬が くる。

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部が動詞なら○、動詞でないなら×を書きなさい。

- ・満点の星空がとてもきれいだ。 ( )
- ・第一試合だけは絶対に勝つ。 ( )
- ・あらゆる方法を試みてみた。 ( )
- ・助けを呼ぶ声が聞こえた。 ( )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を終止形に直しなさい。

- ・授業中に席を立たない。 ( )
- ・雲の間から日が差します。 ( )
- ・先生のやり方をまねよう。 ( )
- ・少し歩けばすぐに着きます。 ( )

3. 「果たす」という動詞を【 】に示す活用形にして、( ) に平仮名で答えなさい。

- ・【未然形】役目を ( ) ない。
- ・【未然形】役目を ( ) う。
- ・【連用形】役目を ( ) ます。
- ・【連体形】役目を ( ) ことが大切。

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞の活用形を書きなさい。

- ・何か支えるものが必要だ。 ( ) 形
- ・赤ちゃんがきゃつきゃと笑う。 ( ) 形
- ・洗濯物を家の中に干さない。 ( ) 形
- ・大空を鳥のように飛べ。 ( ) 形

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部は上一段活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・ 並木の影が道路に落ちる。 ( ) 形 ( )
- ・ 時が過ぎれば忘れられる。 ( ) 形 ( )
- ・ そろそろ潮の満ちる時期だ。 ( ) 形 ( )
- ・ プリントが五人分足りない。 ( ) 形 ( )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部は下一段活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・ 決して消えない傷がついた。 ( ) 形 ( )
- ・ 攻めるときはスピードが大切。 ( ) 形 ( )
- ・ 謝った考えは捨てる。 ( ) 形 ( )
- ・ 机を一気に並べる。 ( ) 形 ( )

3. 次の \_\_\_\_\_ 線部は力行変格活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・ 春が来た。 ( ) 形 ( )
- ・ 台風が来る季節だ。 ( ) 形 ( )
- ・ 明日も来よう。 ( ) 形 ( )

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞が自動詞なら「自」、他動詞なら「他」を ( ) に書きなさい。

- ・ 港から船が出る。 ( ) ( )
- ・ 港から船を出す。 ( ) ( )
- ・ 九時に授業が始まる。 ( ) ( )
- ・ 電話当番が机の上にメモを残す。 ( ) ( )

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を、終止形に直して書きなさい。

- ・明日は激しい雨が降ります。 ( )
- ・早く本を図書館に返そう。 ( )
- ・朝早く起きて、運動した。 ( )
- ・期日が過ぎてしまった。 ( )

2. 次の各文に一つだけある動詞に \_\_\_\_\_ 線をひき、その動詞の活用形を書きなさい。

- ・今日のことを忘れない。 ( ) 形
- ・これは直せばまだ使用可能だ。 ( ) 形
- ・田舎町を訪ねる。 ( ) 形
- ・時間だ。早く起きろ。 ( ) 形

3. 次の \_\_\_\_\_ 線部は五段活用 of 動詞です。活用形を書きなさい。

- ・このままでは遅刻だ。急げ。 ( ) 形
- ・少し休めば、よくなるだろう。 ( ) 形
- ・一か月に一冊は本を読みます。 ( ) 形
- ・一字一字ていねいに書く。 ( ) 形

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を可能動詞にして ( ) に書きなさい。

- ・重い荷物を片手で持つ。 ( )
- ・おこづかいで新しいゲームを買う。 ( )
- ・高尾山に一人で登る。 ( )
- ・バタフライで百メートル泳ぐ。 ( )

1. 次の文の形容詞を書き抜きなさい。

- ・ 隣の家の犬はおとなしい。 ( )
- ・ 友達と一緒におもしろい映画を見た。 ( )
- ・ 大きな荷物が落ちそうで危ない。 ( )
- ・ チョウとガは違いが微妙でまぎらわしい。 ( )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部の形容詞の活用形を書きなさい。

- ・ セミの命ははかない。 ( ) 形 ( )
- ・ このキャンディは甘くない。 ( ) 形 ( )
- ・ 熱ければ少し冷ましなさい。 ( ) 形 ( )
- ・ 優勝してさぞうれしかろう。 ( ) 形 ( )

3. 次の ( ) に入る形容詞の活用語尾を答えなさい。

- ・ 八時の出発では早 ( ) う。
- ・ 今日のテストは難し ( ) た。
- ・ もつと軽 ( ) ば持てるのになあ。
- ・ 軽井沢は夏でも涼し ( ) 。

4. \_\_\_\_\_ 線部が補助形容詞であるほうを記号で答えなさい。

- ・ イア 開園まであまり時間がない。
  - ・ イア 案内状に書いてある時間が正しくない。
  - ・ イア この問題の解き方を教えてほしい。
  - ・ イア 返事は早めにほしい。
- ( ) ( ) ( ) ( )

1. 次の文の形容動詞を書き抜きなさい。

- ・なぜ失敗したのか不思議だ。 ( )
- ・失敗の原因は明らかだった。 ( )
- ・男性が親切に道を教えてくれた。 ( )
- ・デパートですてきなシャツを買った。 ( )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部の形容動詞の活用形を書きなさい。

- ・彼女はとてもスマートだ。 ( ) 形 ( )
- ・好きな食べ物は何ですか。 ( ) 形 ( )
- ・問題はそれほど単純ではない。 ( ) 形 ( )
- ・目標を立てることが重要だろう。 ( ) 形 ( )

3. 次の【 】に示す形容動詞を適切に活用させて、( ) ( ) に書きなさい。

- ・【華やかだ】発表会で ( ) 服を着た。
- ・【清らかだ】この小川の水は ( ) 。
- ・【安全です】ヘルメットをかぶれば ( ) 。

4. 次の文から形容動詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。

- ・台風の日( )に川に近づくのは危険である。  
形 ( )
- ・バスの方が便利ならそちら( )を使っているよ。  
形 ( )

1. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

馬車は草地をはなれました。木がけむりのようにぐらぐらゆれました。一郎は黄金のどんぐりを見、やまねこはとぼけた顔つきで、遠くをみていました。馬車がすすむにしたがつて、どんぐりはだんだんひかりがうすくなりました。

(宮沢賢治「どんぐりとやまねこ」)  
文の数 ( 四 )

2. 次の文章について、①段落の数、②文の数を漢数字で答えなさい。

日本は、小さな島国です。しかも、人々が生活できるような平らな土地は、それほど多くはありません。それでも、その限られた土地には一億を超える人々が住み、さまざまな暮らしを営んでいます。その一つが山村です。人々はここで、大昔から木を切ったり、炭を焼いたりしてきました。そしてさらに、小さな畑を作ったり、魚を取ったりして、生活を支えてきたのです。

①段落の数 ( 三 ) ②文の数 ( 六 )

3. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

猫の耳というものはまことにおかしいものである。うすべったくて冷たくて竹の子の皮のように表には毛が生えていて裏はピカピカしている。かたいような柔らかいようななんともいえない一種特別の物質である。

文の数 ( 三 )

4. 次の文章は三つの段落に分けられる。第二段落と第三段落の最初の五字を、それぞれ抜き出しなさい。

日本の学生は、ただひたすら教科書だけを読んで勉強した気分になっている。そのため、卒業するとたちまち怠けてしまうように見える。教科書以外の本を読む習慣がないばかりに、せつかくの知識欲も宙に浮いてしまうのである。それならば欧米の学生はどのようであるかというところ、とにかくよく本を読む。知識欲を満たすために、教科書以外にも、いろいろな専門書と呼ばれる本をむさぼるように読むのである。彼らは専門書を読むことにあまり抵抗を感じていない。ごく日常的に専門書と接しているのだから、この感覚は、そう簡単に身につくものではない。日

第二段落「それならば」 第三段落「ところが」

1. 次の語句を並び替え、意味の通る文にしなさい。

お兄さんは 楽しい 彼女の とても 人です。

( 彼女のお兄さんはとても楽しい人です。 )

2. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

ここに熱い湯が入った茶碗が一つある。ただ一杯のこの湯だが、自然の現象を観察することの好きな人には、さまざまな疑問が起こってくる。湯気の場合、茶碗のすぐ上から大きくうずが出来て、それがかなり早く回りながら上つていく。

文の数 ( 四 )

3. 次の文章の文を、意味が通るように並び替え、その順序を記号で答えなさい。ただし、アが一番目である。

ア 社会とは、人々が集まって生活する集団のことである。  
イ だから、家族も、一つの小さな社会といえるだろう。  
ウ わたしとその友達とで作っているグループも小さな社会である。  
エ わたしは家族を作った生活している、親しく付き合っている友達が  
オ また、わたしたちには、何人かの、親しく付き合っている友達が  
いる。

( ア ↓ エ ↓ イ ↓ オ ↓ ウ )

4. 次の文章に句点「。」をつけ、いくつかの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

私はそれから時々先生を訪問するようになった。行くたびに先生は在宅であった。先生に会う回数が増えるにつれて、私はますます繁く先生の玄関へ足を運んだ。

文の数 ( 三 )



1. 次の文章はいくつの段落からなるか。漢数字で答えなさい。

とにかく、そうして、のんのんやっていた。  
それ、ペンキを塗ったのでないわけか、その、白象がやってきた。白い象だ  
は象のことだから、たぶんぶらっと森を出て、ただなにとなく来たのだ  
ろう。

( 二 )

2. 次の文章は二つの段落に分かれる。第二段落のはじまりの五字を抜き出しなさい。

そしたらとうとう、象がこのころがってきた。そして機械の前のと  
こを、のんきに歩き始めたのだ。と、パチパチ象に当るのだ。象はい  
いて、もみは夕立かあられのよう、目を細めていたが、またよく見る  
かにもうるさいらしく、小さなその目を細めていたが、またよく見る  
と、確かに少し笑っていた。

( ところがな )

3. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

オツベルときたらたいしたものだ。それにこの前稲こき小屋で、うま  
く自分のものにしたら、象も実際たいしたものだ。力も二十馬力もある。  
だ、いち見かけが真つ白で、牙は全体きれいな象牙でできている。皮も  
全体、立派でじょうぶな象皮なのだ。そしていぶん働くもんだ。けれ  
ども、そんなに稼ぐのも、やっぱり主人が偉いのだ。

( 七 )

4. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

象は目を細くして喜んで、その昼過ぎに五十だけ、川から水をくんで  
きた。そして菜っ葉の畑にかけた。

( 三 )

1. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

形の乱れやゆがみは、見た目の美しさを半減させる。花火作りは、内包する部品作りから組み立てにいたるまでほとんどが手作業で、その良しあしや精度が、開花した時の姿に大きく影響する。丁寧な作業を積み重ねること、理想の姿に近づけていくのだと花火師は言う。

(三)

2. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

現在の花火大会では、一発のできればもちろんのこと、それを連続して打ち上げる時の組み合わせやリズムといった演出面も、観客を楽しませるといふ観点から重要となっている。

(一)

3. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

ある日のことでございます。お釈迦様は極楽の蓮池の縁を、独りで歩いたりお歩きになっていきます。池の中には咲いている蓮の花は、みんな玉のように真っ白で、そのまんなかにある金色の蓮は、ちよいとえないうように匂いが、絶え間なく辺りへあふれております。極楽はちょうど朝なのでございませう。

(四)

4. 次の文章はいくつの文からできているか、その数を漢数字で書きなさい。

しかし極楽の蓮池の蓮は、少しもそんなことには頓着いたしません。その玉のようないまは、お釈迦様のおみ足からは、なにゆえなく、なを動かして、そのまんなかにある金色のおりから、極楽ももう昼に近くなつたのでございませう。

(三)

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・日本の／伝統的な／庭園の／形式だ。  
・春の／森は／やわらかい／光に／包まれる。  
・演劇部の／発表を／静かに／鑑賞した。  
・外から／ネコの／鳴く／声が／聞こえる。  
・庭に／出ると／ひざしが／まぶしかった。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・私は／ゆつくり／階段を／上った。  
・父が／私の／弁当を／届けて／くれた。  
・明日の／朝に／飛行機に／乗る。  
・人前で／話す／時は／はつきり／言おう。  
・計画的に／話す／夏休み／の／勉強を／進める。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・軽い／荷物／を／部屋／に／飾る。  
・ピンク／の／花／を／自分／の／部屋／に／飾る。  
・弟が／風邪／で／学校／を／休む。  
・私／は／弟／を／うらやましく／思う。  
・今日／は／日／高山脈／が／よく／見える。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・今日／の／給食／は／パン／と／焼きそば／です。  
・肉じゃが／の／日は／残さず／食べます。  
・給食／は／毎日／を／残さず／食べます。  
・時々／おかわり／を／す／元気が／あります。  
・カレールー／の／日／は／一番／元気が／あります。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・犬を／自宅で／飼う。  
・店に／行って／えさを／買う。  
・犬を／散歩に／連れて／行った。  
・犬は／しっぽを／振った。  
・今度は／犬に／芸を／教える。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・猫が／三匹／産まれた。  
・茶色と／白と／黒の／猫だ。  
・子猫は／仲良く／遊んで／いる。  
・一匹が／雄で／二匹が／雌だ。  
・寝る／時に／半目に／なる。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・くるみ／の／殻／が／落ちて／います。  
・くり／の／殻／に／穴／を開け／ます。  
・りす／が／ま／ぼく／を／食べ／る。  
・むさ／さ／び／は／木／の／葉／を／噛み／切る。  
・動物／の／食／べ／た／痕跡／が／見つかる。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・秋／の／夜長／に／読書／を／する。  
・秋／は／収穫祭／が／行わ／れる。  
・いも／もち／を／量／作／つた。  
・片栗粉／の／量を／が／要／だ。  
・落ち葉／を／集め／た。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母／さん／の／誕生日／だ。

・沖縄県は／日本で／最も／西に／ある。  
・多くの／島から／構成される。  
・温かい／気候なので／観光客が／多い。  
・海に／潜ると／熱帯魚が／いる。  
・海の中は／静かだ。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたし／の／お母／さん／の／誕生日／だ。

・北海道は／北部に／位置する。  
・広大な／土地が／ある。  
・人間よりも／牛が／多い／場所が／ある。  
・搾りたての／牛乳は／おいしい。  
・海の／幸も／豊富に／獲れる。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母／さん／の／誕生日／だ。

・ミャンマー／と／いう／国／がある。  
・タイ／と／隣接／して／いる。  
・人口／は／日本／より／少ない。  
・面積／は／約／八倍／で／ある。  
・黄金／に／輝く／お寺／がある。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母／さん／の／誕生日／だ。

・かき氷／を／食べる／と／頭／が／痛い。  
・花火／が／夏の／風物詩／だ。  
・名曲／が／心に／ぐつ／と／くる。  
・懐中電灯／を／旅行／が／私／の／夢／だ。  
・世界中／一周／旅行／が／私／の／夢／だ。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・気が／付けば／スマホの／充電が／減って／いる。  
・私の／勝負飯は／かつ丼だ。  
・豚丼は／帯広の／ソウルフードだ。  
・母の／買い物に／付き合う。  
・市場の／お刺身は／新鮮だ。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・お盆には／先祖の／墓に／手を／合わせる。  
・十勝産の／小豆で／作る／あんこは／美味しい。  
・十五夜に／家族で／お月見を／した。  
・月に／うさが／住んで／いると／信じて／いた。  
・新学期に／学級写真を／撮影する。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・体育の日／に／マラソン／大会／に／参加／した。  
・自信の／が／コンク／ル／で／賞／を／とつ／た。  
・私小説／を／読む／と／脳／が／活性化／する。  
・推理小説／を／読む／と／脳／が／活性化／する。  
・読書／を／する／と／脳／が／活性化／する。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・新たな／出会い／に／胸／が／高まる。  
・体育祭／で／仲間／と／大／盛り／上がる。  
・部活動／の／先輩／の／頼／みに／憧れる。  
・クラス／の／絆／が／深／まる／文化祭。  
・受験勉強／の／力／を／注／ぐ／冬休み。

1. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・晩／ご飯に／ハンバーグを／作る。  
・玉ねぎを／みじん切りに／する。  
・ひき肉を／ひねる。  
・玉ねぎと／ひき肉を／混ぜる。  
・真ん中に／くぼみを／つけて／焼く。

2. 次の文に／線をいれて文節に区切りなさい。

例 今日は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・忘れ物に／気づいて／自宅に／戻る。  
・鍵が／かかって／いて／中に／入れない。  
・祖母が／自宅に／いるが／耳が／遠い。  
・ドアを／叩く。  
・友達に／借りて／やり過ぎた。

3. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・部活／の／先輩／の／話を／よく／聞く。  
・先輩／は／筋／の／通つ／た／こと／を／言う。  
・自分／は／に／考へて／行動／する。  
・物事は／は／ず／ぐ／に／上達／し／ない。  
・積み／重ね／が／大きな／力／に／なる。

4. 次の文に／線をいれて単語に区切りなさい。

例 今日／は／わたし／の／お母さん／の／誕生日だ。

・挨拶／する／と／気分／が／良い。  
・チャンス／は／無理／つか／訪れる。  
・主人／は／無／を／言う／もの／だ。  
・今／の／僕／に／暗／く／は／も／勢／い／星／が／は／輝く。  
・ど／んな／に／暗／く／は／も／勢／い／星／が／は／輝く。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・ 白い 雪が 積もる。
- ・ 猫が 糸を 引っ張る。
- ・ 妹は ゆかたを 着る。
- ・ 海辺では カニも いる。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・ 太陽が 昇る。
- ・ 自然は すばらしい。
- ・ 議長が 意見を まとめた。
- ・ 夜空に 星は 輝く。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・ 灯台の明かりが夕暮れにともった。
- ・ 白雪姫は永い眠りから覚めた。
- ・ ぼくの横に弟も並んだ。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・ 弟は／来年／小学生に／なる。
- ・ まもなく／友人も／来るだろう。
- ・ 始発の／電車が／駅に／着いた。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・ みくは くちびるを 引きしめた。
- ・ 二人は 車を 追いかけて 飛び乗った。
- ・ 彼は むずかしい 演奏曲は 上手に 弾けない。
- ・ 私の 部屋の 机には 写真を 飾って 置いてある。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・ みくは 一人 うなずいた。
- ・ となりの 席の 人が 席を ゆずってくれた。
- ・ 先生は 趣味は 写真だと 話してくれた。
- ・ 私は なかよく なりたいと 思った。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・ 実験が 理科室で 行われた。
- ・ 脳は 体の 外部での ことを 検知できる。
- ・ ことわざは 昔から 多く 使われている。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・ 話す／ 人は／ わかりやすく／ 伝える。
- ・ 私は／ 道幅が／ 狭くて／ 歩けない。
- ・ 車との／ 接触事故が／ あった。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・僕は まちがっていないと 思う。
- ・フリードリヒは 町の まん中に 現れた。
- ・袋の 中身は りんごだった。
- ・宝物が 道 いったいに 転がってしまった。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・あの ケーキは 大きい。
- ・田中君は 大阪の たこ焼き屋で 働いている。
- ・どこかで 見た 風景だった。
- ・休みの 朝は 駅に 行く 人が 少ない。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・僕は りんごを 集める。
- ・女の子は ふり返って 手を ふった。
- ・僕たちは 公園の 中を 散歩した。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を  
つけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・本には／／たくさんの／／情報が／／ある。
- ・彼は／／辺りが／／暗くなり／／歩けない。
- ・小さな／／あなが／／あくだろう。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。

- ・白い 象が やってくる。
- ・オツベルが 顔を しかめる。
- ・象は しくしく 泣き出した。
- ・象の 片足が 塀から こっちへ はみ出した。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。

- ・ガラス瓶が 食卓の 上に ある。
- ・私は 家族に 行き先を 伝える。
- ・ウミガメが 海岸で 産卵する。
- ・この 果実は よく 熟れている。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・子どもが 健やかに 育つ。
- ・熊が 干潟で 貝を 拾う。
- ・先生たちが 廊下を 掃除する。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線をつけなさい。

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・花には／多くの／虫が／訪れる。
- ・私は／初心に／戻って／がんばる。
- ・虫が／家の／外で／鳴く。

1. 次の各文の主語に――線を引きなさい。
- ・富士山は日本で一番高い山だ。
  - ・彼はマラソンに挑戦している。
  - ・ライオンはアフリカの草原の王だ。
  - ・北海道はおいしいラーメンで有名だ。

2. 次の各文の述語に――線を引きなさい。
- ・山形のサクランボはおいしい。
  - ・田中君はメガネをした人です。
  - ・ろうそくの火が消える。
  - ・教室には移動式のテレビがある。

3. 例にならって、次の各文の主語には――線を、述語には――線をつけなさい。

例 兄はゆっくりと歩いた。

- ・マイケルはアメリカ出身の男の子だ。
- ・その店に肉は売っていない。
- ・黒い毛のうさぎが一匹いる。

4. 例にならって、次の文を／をつかって文節に分けて、主語に――線を

例 白い／雲が／ぽっかり／浮かぶ。

- ・北海道は／寒さが／厳しい。
- ・この／いもは／予想以上に／大きい。
- ・美しい／鳥が／はばたく。

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を、一文節で答えなさい。

- ・丸い 月が 見える。 ( 月が )
- ・妹は 暗い 部屋で 一人で 寝た。 ( 部屋で )
- ・遠い 道を ゆっくりと 歩いた。 ( 歩いた )
- ・赤い 花が 公園に 咲く。 ( 花が )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・ひまわりの 種が 落ちている。 ( ひまわりの )
- ・図書室は 三階に あります。 ( 三階に )
- ・学級委員が 司会を 務める。 ( 司会を )
- ・おいしい 桃を 食べる。 ( おいしい )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・母は 歩いて 美容室に 出かけた。 ( B )
- ・野球は とても 楽しい。 ( A )
- ・図書館で ぼくは 静かに 読書する。 ( B )
- ・父と 母が 外出して いる。 ( C )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・大豆は、高い栄養価を持っている。 ( 修飾語の種類 ( A ) )
- ・桜の花びらが、ちらちらと舞う。 ( 修飾語の種類 ( B ) )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・祖父に やっと 十年ぶり で 会えた。 ( 会えた )
- ・風の 中を 客船は 進んだ。 ( 中を )
- ・小さな アリが 大きな 虫を 運ぶ。 ( アリが )
- ・駅で 父の 帰りを じっと 待った。 ( 待った )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・彼は 有名な 画家だ。 ( 有名な )
- ・私は 妹の 三角定規を 借りた。 ( 妹の )
- ・父は ゴルフに 出かけた。 ( ゴルフに )
- ・お土産を どっさり 買って来た。 ( どっさり )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・私も 一緒に 遊びたい。 ( B )
- ・渡り鳥が 飛んで いく。 ( C )
- ・誘ってくれて ぼくは うれしかった。 ( A )
- ・彼は 有名な 詩人です。 ( B )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・公園で、小さな子どもたちが遊ぶ。 ( 修飾語の種類 ) ( B )
- ・長い彼女の髪は、彼女の宝物だそうだ。 ( 修飾語の種類 ) ( A )

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・兄の 本を 借りて 読む。 ( 本を )
- ・秘密を 友に こっそり 打ち明けた。 ( 打ち明けた )
- ・子どもは 公園で 遊ぶ。 ( 遊ぶ )
- ・午後から 友人が 来る。 ( 来る )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・かわいい 犬を 飼う。 ( かわいい )
- ・ゆつくりと 流れる 川。 ( ゆつくりと )
- ・友だちが いきなり 遊びに 来た。 ( いきなり )
- ・わたしは 母と 待ち合わせを した。 ( 母と )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・彼は ピッチャーで エースだ。 ( C )
- ・母は メロンパンを 作った。 ( B )
- ・いらぬなら ぼくが 全部 食べるよ。 ( A )
- ・白い ぼうしを かぶった 少女が いる。 ( A )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・これは、もつとも優れた小説の一つだ。 ( 修飾語の種類 ) B
- ・私が生まれたふるさとはお茶の名産地です。 ( 修飾語の種類 ) A

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を一文節で答えなさい。

- ・僕は 駅に 行った。( 行った )
- ・母が 料理を 作る。( 作る )
- ・白い 花が 咲く。( 花が )
- ・電車が 事故で 止まった。( 止まった )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・弟は とても 元気だ。( とても )
- ・わたしは そうっと 歩く。( そうっと )
- ・父は 数学の 先生だ。( 数学の )
- ・色あせた 写真が おいてある。( 色あせた )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・生徒たちは みんな 教室に 避難した。( B )
- ・図書室には 漫画が 一冊も ない。( A )
- ・妹も 私たちと 一緒に 遊びたがる。( A )
- ・彼女は わたしの 憧れの 先輩だ。( C )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・昨夜から本格的に降ってきた雨は、まだやまない。( 修飾語の種類 ) B
- ・長く細い道が、どこまでも続いていく。( 修飾語の種類 ) A

1. 次の各文の 線部の修飾語は、どの言葉にかかっていますか。受ける被修飾語を、一文節で答えなさい。

- ・雪で 道は 真っ白に 染まった。 ( 染まった )
- ・苦勞して 見つけた ぼくの 宝物を。 ( 見つけた )
- ・友人に 留守だから 遊ぼうと 言った。 ( 言った )
- ・兄が ゆっくり 走る。 ( 走る )

2. 次の各文から修飾語を書きぬきなさい。

- ・ねずみが すばやく 逃げる。 ( すばやく )
- ・真っ赤な りんごは おいしい。 ( 真っ赤な )
- ・鳥が 巣箱に 入った。 ( 巣箱に )
- ・わたしは 兄と 走る。 ( 兄と )

3. 次の各文の、線部が、主・述の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、どちらでもなければCを書きなさい。

- ・ぼくは 初めて サインを もらった。 ( B )
- ・自然は 人の心を いやします。 ( A )
- ・わたしは 思わず ガッツポーズを した。 ( B )
- ・今日の 波は 静かで 穏やかだ。 ( C )

4. 次の各文の 線部に対応する被修飾語を、一文節で答えなさい。また、線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、それぞれ答えなさい。

- ・青空を、大きな鳥がゆっくりと飛ぶ。 ( 修飾語の種類 ) ( B )
- 文節 ( 飛ぶ ) ( 修飾語の種類 ) ( B )
- ・かわいい犬に、きゃんきゃんと吠えられた。 ( 修飾語の種類 ) ( A )
- 文節 ( 犬に ) ( 修飾語の種類 ) ( A )

1. 次の各文で、接続語が含まれていればAを、独立語が含まれていればBを、どちらも含まれていなければCを( )に記入しなさい。

- ・君、ちよつと手伝ってくれ。
  - ・雨が降つたので、少し休んだ。
  - ・雨が降つた。その家で雨宿りしよう。
  - ・うん、ちよつと待つて。
  - ・暗かったが、道はわかつた。
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
A B C A B  
( ) ( ) ( ) ( ) ( )

2. 次から接続語が用いられている文をすべて見つけ、記号で答えさい。

- ア 山の天気は、急激に変化した。
  - イ 風邪気味なので、学校を休んだ。
  - ウ 東京から京都まで、かなりの距離がある。
  - エ 母に頼まれ、米、また、塩も買ってきた。
  - オ 読書が好きな父は、毎週日曜日に図書館に行く。
- ( イ・エ )

3. 次の各文から接続語を探し、一文節で答えなさい。

- ・ 痛かつたので、すぐに手当てをした。  
( 痛かつたので )
- ・ 今年の夏は暑い。しかも、湿度も高い。  
( しかも )

4. 次の各文の 線部が独立語なら○を、そうでないなら×を( )に記入しなさい。

- ・ ねえ、この問題わかる？
  - ・ そして、夜はふけていった。
  - ・ 君、授業が始まるよ。
  - ・ はい、ぼくが掃除当番です。
  - ・ 困つたよ、ぼくは。
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
× ○ ○ × ○  
( ) ( ) ( ) ( ) ( )

1. 次の各文の接続語を一文節で答えなさい。

- ・雨だったので、ぼくは家にいた。 ( 雨だったので )
- ・遠かったが、バスには乗らなかった。 ( 遠かったが )
- ・風が強くなり、さらに雨まで降りだした。 ( さらに )

2. 次の各文の独立語を一文節で答えなさい。

- ・おおっ、これは見事な茶碗だ。 ( おおっ )
- ・みんな、早く集まろう。 ( みんな )
- ・時間、これほど大切なものはない。 ( 時間 )

3. 次の文に自然に続くように、( ) にあてはまる接続語を から選  
び、書き入れなさい。

- テストで八十点を取った。
- A . ( ) だから )、大満足だ。
- B . ( ) しかし )、物足りない。
- しかし ) さらに ) だから ) なぜなら )

4. 次の文章から独立語を抜き出し、その意味を後から選びましょう。

- ・ ( ) おい、これを見ろよ。
- ・ ( ) 努力、これが今の君には必要なのだ。
- ・ ( ) はい、もうすぐ終わります。
- ・ ( ) ア イ エ ウ ) なんと、素敵なバラの花束なんだろう。

- ア、感動    イ、応答    ウ、呼びかけ    エ、提示

1. 次の各文の接続語を一文節で答えなさい。

- ・ 赤、そして白が私の好きな色だ。 (そして)
- ・ もうだめだと思った。しかし、あきらめなかつた。 (しかし)
- ・ 本を買おうか。でも、CDも欲しい。 (でも)

2. 次の各文の独立語を一文節で答えなさい。

- ・ もしもし、先生のお宅ですか。 (もしもし)
- ・ いいえ、違います。 (いいえ)
- ・ そうだ、みんなで図書館に行こう。 (そうだ)

3. 次の文に自然に続くように、「」にあてはまる接続語を次から選び、書き入れなさい。

- ・ 外出中に雨が降ってきた。  
A . (なぜなら)、台風が近づいているからだ。  
B . (さらに)、強い風まで吹いてきた。
- 「しかし さらに だから なぜなら」

4. 次の文章から独立語を抜き出し、その意味を後から選びましょう。

- ・ エジプト、そこは時間の流れが止まったような所だ。
- ・ アイ、この件については聞いておりません。
- ・ ウア、ねえ、明日例の美術館に行ってみない。

ア、感動    イ、応答    ウ、呼びかけ    エ、提示

1. 次の 線部の接続詞の種類を後ろから選び、書きなさい。

・彼女の説明は具体的だ。だからわかりやすい。

( 順接 )

・これで宿題が終わった。さて次は何をしようかな。

( 転換 )

・赤、青、緑。つまりこれを光の三原色という。

( 説明・補足 )

〔順接 逆接 並列・累加 対比・選択 説明・補足 転換〕

2. 次の文から独立語に線を引きなさい。

・やあ、今日もいい日ですね。

・あなたは野球が好きですか。はい、そうです。

・もしもし、山田さんのお宅ですか。

3. 次の ( ) に入る適切な接続詞を後ろから選び、書きなさい。

・あの店のハンバーグはおいしい。(しかも )、量も多い。

・あの店のハンバーグはおいしい。(だから )、もっと食べたい。

・あの店のハンバーグ、(もしくは )コロッケを食べたい。

〔だから でも しかも もしくは なぜなら では〕

4. 次の 線部の独立語の種類を後ろから選び、書きなさい。

・あなたが好きなのは、すしですか。いいえ、ちがいます。

( 応答 )

・やあ、元気だった？

( 呼びかけ )

・さようなら、また明日遊ぼうね。

( あいさつ )

〔感動 呼びかけ 応答 あいさつ〕

1. 次の――線部の接続詞の種類を後ろから選び、書きなさい。

・このメロンはとても高い。しかし、甘くはない。( ) 逆接

・ラーメンを食べた。さらに、餃子も食べた。( ) 並列・累加

・ケーキを食べますか。それとも、スイカにしますか。( ) 対比・選択

〔順接 逆接 並列・累加 対比・選択 説明・補足 転換〕

2. 次の文から独立語に線を引きなさい。

・ねえねえ、この本はとってもおもしろいよ。

・理想、これがなければ突き進めないね。

・ひまわり畑を見た。なんと、美しい景色でしょう。

3. 次の( )に入る適切な接続詞を後ろから選び、書きなさい。

・帰ったら、勉強しようか。( ) もしくは( )、読書しようか。

・帰ったら、勉強を一時間して、( ) さらに( )読書しよう。

・帰ったら、勉強をしよう。( ) なぜなら( )明日はテストだ。

〔だから だが しかも もしくは なぜなら さらに〕

4. 次の――線部の独立語の種類を後ろから選び、書きなさい。

・へえ、そのようなことまで知っているのですね。( ) 感動

・いいえ、そのようなことは聞いていません。( ) 応答

・こんにちは、今日はよろしくね。( ) あいさつ

〔感動 呼びかけ 応答 あいさつ〕

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・歴史や哲学を学ぶと良い。
- ・ハワイは空と海が美しい。
- ・このケーキは、甘いし、やわらかい。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・青くすんだ空を見上げる。( )
- ・海辺の風に旗がなびく。( × )
- ・毎日勉強したり運動したり忙しい。( ○ )
- ・兄は走り、ぼくは歩いた。( × )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・庭に犬がいる。( × )
- ・雲が動いている。( ○ )
- ・手紙を書いてみる。( ○ )
- ・百科事典をみる。( × )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・かばんに入れた教科書がない。( )
- ・幼稚園で遊ぶ。( )
- ・学校への坂道は長くゆるやかだ。( )

ウ ア 主・述の関係  
エ イ 修飾・被修飾の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・私が飼っている犬の毛はふわふわで白い。
- ・ありやくもが、とてもたくさんいる。
- ・昼ご飯はラーメンかチャーハンか、どちらにする？

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・僕は 彼を 疑う。 ( × )
- ・遊びに 行くのは やめた。 ( × )
- ・彼は ピッチャーで エースだ。 ( ○ )
- ・うちに、ねこと 犬が いる。 ( ○ )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・きれいな 花が 咲いて いる。 ( ○ )
- ・店は その あたりに ある。 ( × )
- ・母に 相談して みる。 ( ○ )
- ・いくら 探しても ない。 ( × )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・平和であることが一番だ。 ( エ )
- ・庭の木もきれいに手入れされている。 ( ア )
- ・小さくてかわいい花が咲いている。 ( ウ )

ウ ア 主・述の関係  
エ イ 修飾・被修飾の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・母は太い大きな字を書く。
- ・姉も妹も同じ学校へ通っている。
- ・彼女は優しく美しい。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・僕と君は親友だ。 ( ) ○ ( )
- ・雨は降るが、そのうち晴れるだろう。 ( ) × ( )
- ・祖父も祖母もとても元気だ。 ( ) ○ ( )
- ・ねずみがねこを追いかけた。 ( ) × ( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・目的地まで遠くない。 ( ) ○ ( )
- ・がんばって走っている。 ( ) ○ ( )
- ・成功しかない。 ( ) × ( )
- ・もう少して急カーブがある。 ( ) × ( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・泳いでいるのが私の兄です。 ( )
- ・父も母も声大きい。 ( )
- ・ゆっくりと流れる川の水が美しい。 ( )

ウ ア 主・述の関係  
エ イ 修飾・被修飾の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

・目指しているのは、声優とアイドルだ。

・富士山は高く大きい。

・見たり聞いたりして調べよう。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・君こそ 私の 気持ちを 理解して いない。( × )

・たくさん 食べたし 飲んだり した。( ○ )

・そんなに 急いで どこへ 行くの？( × )

・小さくて かわいい 子犬が いる。( ○ )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

・忘れ物が ないか 調べて ほしい。( ○ )

・そんな 気は ない。( × )

・まだ 寒くは ない。( ○ )

・こわいという 気持ちが ある。( × )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・私の父は学校の先生である。( エ )
- ・おなか痛いのので、保健室へ行った。( ウ )
- ・今、飲みたいものはコーヒーか紅茶だ。( イ )

ウ ア 主・述の関係  
 エ イ 修飾・被修飾の関係

1. 例にならって、次の各文で、並立の関係になっている文節に――線を施しなさい。

例 月と星がはっきり見える。

- ・私の町は山や海が近い。
- ・炊事、洗濯、どちらも大切だ。
- ・あの子は、誠実で控えめな性格だ。

2. 次の各文の――線部どうしが、並立の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・息子には 強く 健康に 育って ほしい。( )
- ・きれいな 海へ 行きたい。( )
- ・イルカが いるし、アシカも いる。( )
- ・東京でも 大阪でも どこへでも 行ける。( )

3. 次の各文の――線部どうしが、補助の関係になっているものには○を、そうでないものには×を( )に書きなさい。

- ・こちらの方へ 歩いて くる。( )
- ・彼は、頭が 良いし、足も 速い。( )
- ・全部、食べて しまった。( )
- ・雨雲が こちらへ くる。( )

4. 次の各文で、――線部の文節はあとのどの関係になっていますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・さあ、行ってみよう。( )
- ・あの映画は、面白くてためにもなる。( )
- ・りんごやみかんがある。( )

ウ ア 主・述の関係  
エ イ 修飾・被修飾の関係

1. 次の各文の 線部は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ のどかな街を訪れた。
- ・ 桃の花の香りがする。
- ・ 世界中の人々が喜んだ。
- ・ さあ、授業を始めよう。
- ・ 犬、しかも猫まで飼っている。

ア 主語      イ 述語      ウ 修飾語      エ 接続語      オ 独立語

2. 文の成分について、( ) に適切な語句を記入しなさい。

- ・ ( ) 主語
- ・ ( ) 修飾語
- ・ ( ) 述語
- ・ ( ) 独立語
- ・ ( ) 接続語

3. 次の各文の 線部の連文節は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ 雪が降ったので、屋根の雪かきをした。
- ・ 根性と努力、これがぼくのモットーだ。

エ ア 主語      オ イ 述語      ウ 修飾語

4. 次の各文の 線部の連文節は、どのような文の成分になっていますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ・ 駅まで、車か自転車で行きましょう。
- ・ 父と母が北海道へ旅行する。
- ・ 辞書を使って、英語の手紙を読んでみる。

エ ア 主語      オ イ 述語      ウ 修飾語





1. 「体調がよくなかった。しかし、試合が近い。」を文の意味を変えずに、一つの文に直しなさい。

( 例 体調がよくなかったが、試合が近い。 )

2. 次の文の 線部「いい加減にしたのが」という連文節の文の成分を答えなさい。

・それで、つい準備体操をいい加減にしたのがいけなかったと彼は反省していた。

( 主部 )

3. 次の文の末尾に「ぼくは」に対応する述語を「と」に続けて一文節で補いなさい。

・ぼくは、そういう時こそ、無理をせず、休むことが大切だ。

( と 思う・思った・考えた・感じた など )

4. 次の各文について、下の( )の文の成分にあたる連文節に 線をひきなさい。

・読みたい本は、恩田陸の最新刊です。	(主部)
・部隊の中央にいる人が私のだ。	(述部)
・源氏物語が学校の図書館にある。	(修飾部)
・荷物が重いので、途中で休もう。	(接続部)

中学国語 文法に関する問題 (答え)

1. 次の各文で並立の関係にある連文節に 線をひきなさい。

- ・チーズや ヨーグルトは 乳製品だ。
- ・エベレストは 高く 険しい。
- ・解答用紙に 鉛筆か ボールペンで 書きなさい。
- ・国会は 衆議院と 参議院から 成る。

2. 次の各文の 線部は並立の関係にある連文節である。それぞれのよ  
うな分の成分になっているか、答えなさい。

- ・この 犬は かしこくて おとなしい。
- ・夏休みに 海と 別荘に 行った。
- ・東京タワーと スカイツリーは 東京に ある。

ア 主部    イ 述部    ウ 修飾部

3. 線部が補助の関係になっている方を選びなさい。

- イア 美術館で 絵を 見る。  
英語で 話して みる。

( イ )

4. 線部が補助の関係になっている方を選びなさい。

- イア ハガキを ポストに 出して くる。  
秋の 次には 冬が くる。

( ア )

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部が動詞なら○、動詞でないなら×を書きなさい。

- ・満点の星空がとてもきれいだ。 ( × )
- ・第一試合だけは絶対に勝つ。 ( ○ )
- ・あらゆる方法を試みてみた。 ( × )
- ・助けを呼ぶ声が聞こえた。 ( ○ )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を終止形に直しなさい。

- ・授業中に席を立たない。 ( 立つ )
- ・雲の間から日が差します。 ( 差す )
- ・先生のやり方をまねよう。 ( まねる )
- ・少し歩けばすぐに着きます。 ( 歩く )

3. 「果たす」という動詞を【 \_\_\_\_\_ 】に示す活用形にして、( ) に平仮名で答えなさい。

- ・【未然形】役目を ( 果たさ ) ない。
- ・【未然形】役目を ( 果たそ ) う。
- ・【連用形】役目を ( 果たし ) ます。
- ・【連体形】役目を ( 果たす ) ことが大切。

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞の活用形を書きなさい。

- ・何か支えるものが必要だ。 ( 連体形 )
- ・赤ちゃんがきゃつきゃと笑う。 ( 終止形 )
- ・洗濯物を家の中に干さない。 ( 未然形 )
- ・大空を鳥のように飛べ。 ( 命令形 )

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部は上一段活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・並木の影が道路に落ちる。( 終止 形 )
- ・時が過ぎれば忘れられる。( 仮定 形 )
- ・そろそろ潮の満ちる時期だ。( 連体 形 )
- ・プリントが五人分足りない。( 未然 形 )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部は下一段活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・決して消えない傷がついた。( 未然 形 )
- ・攻めるときはスピードが大切。( 連体 形 )
- ・謝った考えは捨てる。( 命令 形 )
- ・机を一気に並べる。( 終止 形 )

3. 次の \_\_\_\_\_ 線部は力行変格活用の動詞です。活用形を書きなさい。

- ・春が来た。( 終止 形 )
- ・台風が来る季節だ。( 連体 形 )
- ・明日も来よう。( 未然 形 )

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞が自動詞なら「自」、他動詞なら「他」を( )に書きなさい。

- ・港から船が出る。( 自 )
- ・港から船を出す。( 他 )
- ・九時に授業が始まる。( 自 )
- ・電話当番が机の上にメモを残す。( 他 )

1. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を、終止形に直して書きなさい。

- ・明日は激しい雨が降ります。 ( 降る )
- ・早く本を図書館に返そう。 ( 返す )
- ・朝早く起きて、運動した。 ( 運動する )
- ・期日が過ぎてしまった。 ( 過ぎる )

2. 次の各文に一つだけある動詞に \_\_\_\_\_ 線をひき、その動詞の活用形を書きなさい。

- ・今日のことを忘れない。 ( 未然形 )
- ・これは直せばまだ使用可能だ。 ( 仮定形 )
- ・田舎町を訪ねる。 ( 終止形 )
- ・時間だ。早く起きろ。 ( 命令形 )

3. 次の \_\_\_\_\_ 線部は五段活用 of 動詞です。活用形を書きなさい。

- ・このままでは遅刻だ。急げ。 ( 命令形 )
- ・少し休めば、よくなるだろう ( 仮定形 )
- ・一か月に一冊は本を読みます。 ( 連用形 )
- ・一字一字ていねいに書く。 ( 終止形 )

4. 次の \_\_\_\_\_ 線部の動詞を可能動詞にして ( ) に書きなさい。

- ・重い荷物を片手で持つ。 ( 持てる )
- ・おこづかいで新しいゲームを買う。 ( 買える )
- ・高尾山に一人で登る。 ( 登れる )
- ・バタフライで百メートル泳ぐ。 ( 泳げる )

1. 次の文の形容詞を書き抜きなさい。

- ・隣の家の犬はおとなしい。(おとなしい)
- ・友達と一緒におもしろい映画を見た。(おもしろい)
- ・大きな荷物が落ちそうで危ない。(危ない)
- ・チヨウとガは違いが微妙でまぎらわしい。(まぎらわしい)

2. 次の 線部の形容詞の活用形を書きなさい。

- ・セミの命ははかない。(終止形)
- ・このキャンディは甘くない。(連用形)
- ・熱ければ少し冷ましなさい。(仮定形)
- ・優勝してさぞうれしかろう。(未然形)

3. 次の ( ) に入る形容詞の活用語尾を答えなさい。

- ・八時の出発では早( )いだろ( )う。
- ・今日のテストは難し( )かつ( )た。
- ・もつと軽( )けれ( )ば持てるのになあ。
- ・軽井沢は夏でも涼し( )い( )。

4. 線部が補助形容詞であるほうを記号で答えなさい。

- ・ア 開園まであまり時間がない。(イ)
- ・イ 案内状に書いてある時間が正しくない。(イ)

- ・ア この問題の解き方を教えてほしい。(イ)
- ・イ 返事は早めにほしい。(イ)

1. 次の文の形容動詞を書き抜きなさい。

- ・なぜ失敗したのか不思議だ。( 不思議だ )
- ・失敗の原因は明らかだった。( 明らかだ )
- ・男性が親切に道を教えてくれた。( 親切に )
- ・デパートですてきなシャツを買った。( すてきな )

2. 次の \_\_\_\_\_ 線部の形容動詞の活用形を書きなさい。

- ・彼女はとてもスマートだ。( 終止形 )
- ・好きな食べ物は何ですか。( 連体形 )
- ・問題はそれほど単純ではない。( 連用形 )
- ・目標を立てることが重要だろう。( 未然形 )

3. 次の【 】に示す形容動詞を適切に活用させて、( ) に書きなさい。

- ・【華やかだ】発表会で( 華やかな )服を着た。
- ・【清らかだ】この小川の水は( 清らかだ )。
- ・【安全です】ヘルメットをかぶれば( 安全だろ )う。

4. 次の文から形容動詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。

- ・台風の日に川に近づくのは危険である。( 危険だ ) ( 連体形 )
- ・バスの方が便利ならそちらを使っていいよ。( 便利だ ) ( 仮定形 )